

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型番 CR21001L 〔蓄電池内蔵型〕



お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容です。			
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	⚠ 厳守	タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。 →火災・感電の原因になります。 パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。
禁止	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。		電源は専用回路とし、途中にはスイッチを設けないでください。 →非常点灯しない原因になります。
	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井・壁取付両用器具です。傾斜天井には取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	アース工事	アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使わないでください。 →火災・感電の原因になります。
	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		

⚠ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

- 使用上のご注意
- 電源を通電せずに蓄電池コネクタを接続したままで放置しないでください。非常時に点灯しません。
 - 長時間使用しない場合は、蓄電池を消灯するまで放電させた後、蓄電池コネクタをはずしてください。
 - 蓄電池を有効に動作させるため、定期的(6ヶ月に1回が望ましい)に十分な放電を行なってください。
 - 万一高温雰囲気中(140℃以上)で使用した器具は再使用せず、必ず新しいものに交換してください。

■蓄電池交換について ⚠ 注意 蓄電池交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る

2 グローブを取外す
■ランプ交換について2を参考にグローブを取外す。

3 ランプ・遮熱板を取外す
ランプを取外し、遮熱板を支えながら遮熱板取付ネジをゆるめて取外す。

4 古くなった蓄電池を取外す
コネクタをはずし、フタを矢印方向にはずして蓄電池を取外す。

5 新しい蓄電池を取付ける
蓄電池を本体に収納し、フタの突出部を長穴に差し込み、フタを閉じる。■施工手順4を参考にコネクタを接続する。

6 遮熱板・ランプを取付ける
■施工手順5、6を参考に遮熱板・ランプを取付ける。

7 グローブを取付ける
■施工手順8を参考にグローブを取付ける。

※ヒューズの交換は5A管形ヒューズをご使用ください。

- 器具のお手入れ ⚠ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
 - 蛍光灯の両端が黒ずみしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
 - 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて	
保証について	修理を依頼されるとき
- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 - ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 - 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 - ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があります。

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があるかどうか確認してください。 →間違って使用すると火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	 警告	24時間充電を行い、その後非常点灯の確認をしてください。 →十分な充電がされていない場合、非常点灯しません。
 禁止	蓄電池を分解したり、火や水に投入しないでください。 →火災・感電・破裂・やけどの原因になります。 ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

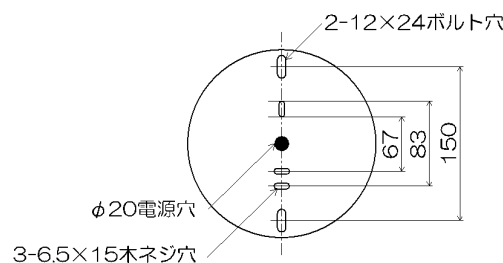
型 番	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力	使用ランプ	使用点灯管	非常時
CR21001L	AC100V	50または 60Hz	0.34A	24W	FCL 20×1	FG-1E×1	Ni-Cd蓄電池 4KR-CH(2.5)-KKBD 4.8V 2500mAh FCL 20×1 (光束比55%)

取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

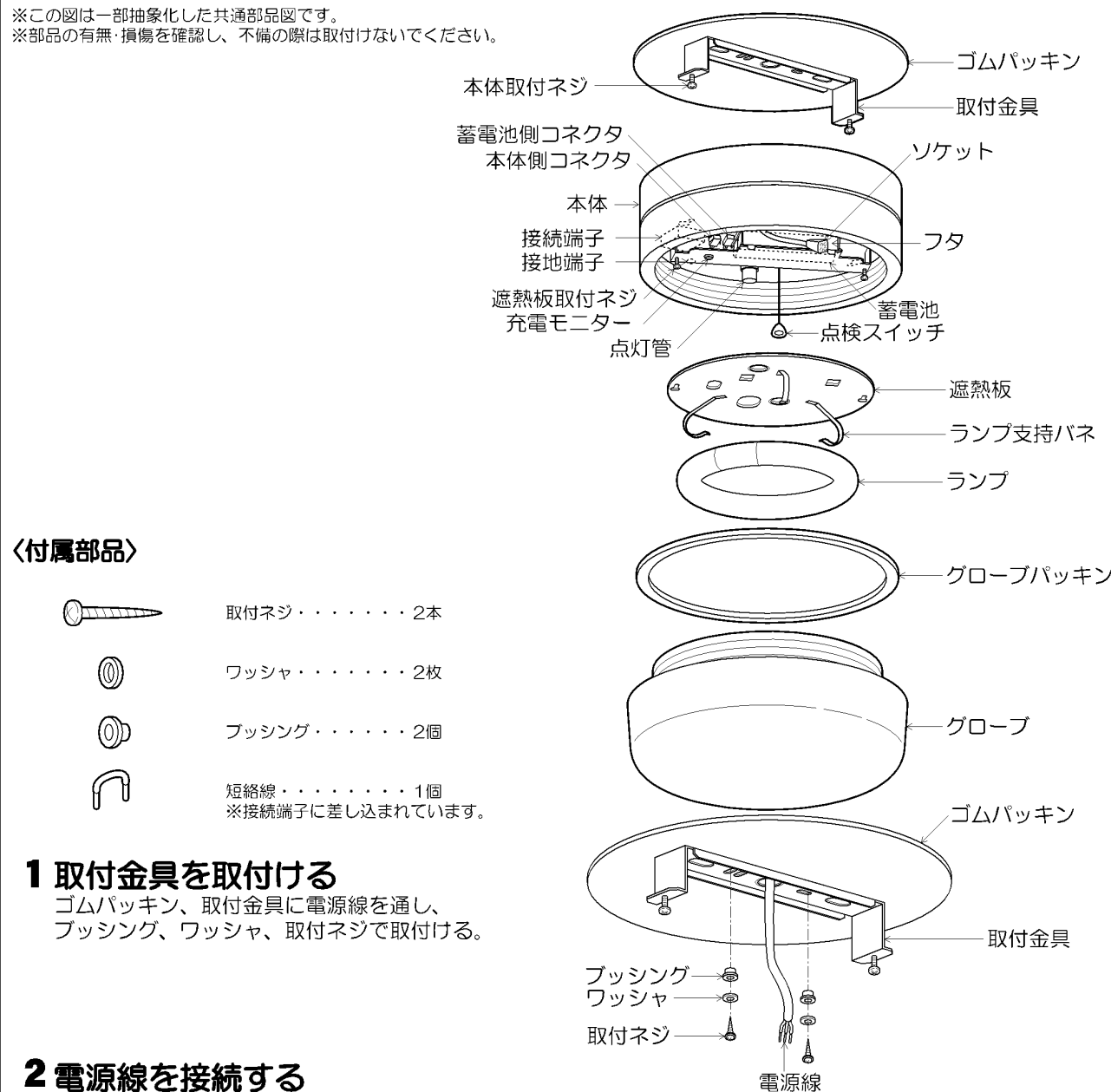
器具や取付面の変色の原因になります。

器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。

右図は器具を取付面から見た図です。



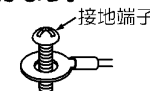
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、
ブッシング、ワッシャ、取付ネジで取付ける。

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は
照明器具専用とする。(接続端子の容量は20A)
はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。



⚠ 警告 電源の接続は確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

※常時点灯方式では、分電盤と接続端子の間に消灯スイッチは設けないでください。

※常時消灯する場合は、所轄消防署の承認が必要です。

※常時消灯する場合は、短絡線をはずしてください。

